



県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された広島県地域保健対策協議会は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を実施しています。その調査研究成果を報告書として具体的な提言等を行って、行政等の施策に反映されることが目的です。このページでは、その活動内容を皆様に理解いただくために、それぞれの活動状況を報告しています。ご意見ご批判は事務局までお寄せ下さい。

県民公開講座シンポジウム準備委員会 (在宅服薬管理対策特別委員会)

日時 平成15年12月15日(月) 18時30分
場 所 広島医師会館6階 第2会議室
出席者 委員長：藤村欣吾

小川、澤井、松井、田坂、今田、藤井、布施
(事務局) 佐々木、市玖

在宅服薬管理対策特別委員会の主催により、県民公開講座を平成16年1月24日(土)県立美術館講堂において、在宅医療の場で服薬療法をどのように役だてるか、県民にひろく啓発する目的で開催する。

県民公開講座は、基調講演「高齢者のライフプラン」講師 生命保険文化センター生活情報室 高地貞雄次長、シンポジウム「在宅医療における服薬管理について」によって構成する。今回はシンポジスト等発言者に集まって頂き、議論の進め方について協議した。

介護保険が平成12年導入され、それにともなつて在宅患者の服薬管理が問題視されるようになった。そこで本委員会において平成14年度に在宅医療が活発な4カ所の地域でアンケート調査をおこなった。その調査で得たデータから、浮き彫りになった問題点を探りながら、シンポジウムではそれぞれの立場から実情、問題を発言。患者によりよい服薬環境を提供するために

はどうしたらよいかディスカッションを進めていく予定。

講演会のタイトルは県民向けに、「ともにかんがえよう！医療とくすり」とわかりやすくする。広報については、チラシを作成し各関係団体に配布する。また、県のホームページ、テレビ局、中国新聞社、市民団体(老人クラブ)等へ開催案内の広報を依頼する予定である。(市玖)

電子カルテモデル事業評価班(地域医療情報化推進専門委員会)

日時 平成15年12月17日(水) 18時30分
場 所 広島医師会館5階 第3会議室
出席者 班長：高杉敬久

寺岡、八谷
(事務局) 佐々木

地域医療情報化推進委員会は、広島県の保健、医療、介護福祉を役割分担と連携により組織的な展開ができるために、情報システムがその「サービス」「質」「安全性」の向上に寄与できるかについて、技術動向を見据え、運用管理に関する組織的な問題を含めた総合的検討を行い、行政、関係諸機関に提言することを確認した。医療情報のあり方として資料のような課題を掲げ、平成15年度事業として、県の情報化に関するモデル事業の方針や成果がについて、評価(調査)する目的で4の作業班(WG)を編成し

た。それぞれのWGに共通した視点は、次のようなものである。

1. 医療の受益者へのサービス効果…
2. 患者(県民)に役に立つ
3. 専門職業務への効果…
4. チーム医療の安全性・質・効率を確保に役立つ
5. 関係諸機関への効果…
6. 関係諸機関の運営に役立つ
7. 地域社会における情報共有への効果…
8. 誰でも等しく情報を手にすることに役立つ

本電子カルテモデル事業評価班(WG)は、国の補助事業の4病院(呉市医師会病院、寺岡記念病院、尾道市立市民病院、脳神経C大田記念病院)がすすめる電子カルテ化に当たって、本事業推進の趣旨と地対協委員会が目指す情報化理念に沿ったものとなっているかどうかの視点から評価(検討)をしていく予定である。

電子カルテ・レセプト電算処理システム導入事業について

八谷委員が資料に基づき、この事業の概要を説明した。平成14年度最終補正予算で経済対策事業として、電子カルテ化に伴うハード整備に掛かる費用の1/2(約4億円)が補助される。単年度事業である。

モデル事業医療機関の概要報告について

- a 呉市医師会病院
高杉委員が進捗状況、今後のスケジュール等を説明した。
- b 寺岡記念病院
寺岡委員が各システムの概要の説明を行った。

事業進捗の評価法雛形と本WGの活動計画について

評価のための質問(アンケート)の様式を八谷委員作成し、該当の4病院に送付回答を得て、次回WGには石川委員長、4病院から含め議論をすることとなった。

1月中旬に様式を作成して4病院に送付、2月末ころにまとめの会を開催する方向で準備する。(佐々木)

地域医療連携推進事業調査班(地域医療情報化推進専門委員会)

日時 平成15年12月18日(木)18時30分
 場所 広島医師会館5階 第2会議室
 出席者 班長:長 健
 寺岡、岡崎、森野
 (事務局) 佐々木

本地域医療連携推進事業調査班(WG)は、県が実施している「かかりつけ医療機能強化事業(府中地区医師会・竹原地区医師会)」と「医療機能連携推進事業(JA吉田総合病院)」による

情報化が、地域医療連携を進めるうえで、事業趣旨と地対協委員会が目指す情報化理念に沿ったものか調査評価(検討課題)をしていく計画である。

本委員会「具体検討課題」(案)について

本委員会の理念を元に、情報化システムがそのサービス、質、安全性の向上に寄与できるか、それぞれの評価班でお願いしたいと、このWGの主旨、目的討を資料に従って説明した。

地域医療機能連携推進事業・かかりつけ医療機能強化事業について

広島県が実施している事業の概要説明があった。かかりつけ医療機能強化事業は府中地区医師会と竹原地区医師会がモデル地区。府中は在宅医療情報共有システムを改良整備し病診連携・診診連携を推進。竹原はかかりつけ医の認知度を高める目的の研修会開催事業を実施した。地域医療機能連携推進事業はJA吉田総合病院を中核として同地区の医療機関との病診連携、患者紹介、画像伝送システムの整備事業。

府中地区医師会、JA吉田総合病院のそれぞれの事業概要が報告された。

本調査班としての活動計画について
電子カルテWGと同様に、モデル地区に対し

て質問への回答を得て、各事業の発表会を2月末頃開催する。そのため質問事項の雛形を作成し準備することになった。(佐々木)

救急医療情報ネットワーク調査(地域医療情報化推進専門委員会)

日時 平成15年12月24日(木) 19時

場所 広島医師会館5階 第3役員室

出席者 班長：武内成治

八谷、石黒、小代

(事務局) 佐々木、市玖

県が開設管理している救急医療情報ネットワークが、平成13年リニューアルされ1日あたり4000件近いアクセスがある。本救急医療情報ネットワーク調査班は、この情報が県民や医療関係者に有用な情報として受入れられているか、その存在が周知されているか、求められている情報は何か等々を調査し、次回の見直し予定である平成18年までに、より要望の高い情報を提供するシステムに拡充する方向で調査検討を進める。

救急医療情報ネットワークの現状について

県の八谷委員及びNTTデータ石黒委員が、情報ネットワークの現状についてアンケート結果等の資料に基づき報告した。

・アクセス件数 H13年10月

リニューアル前 1日500件平均

リニューアル後 1日3500(3800件

インターネット普及によって、利用者が増加した。県はこの事業に1億2000万円の予算確保しており、県民・関係者に役立つシステムとしたい。

本調査班としての活動計画について

医療機関の情報が自己申告制となっており、信頼できる正確な情報かどうかを検証していない。確認のための作業がまず必要であるので、一斉調査を実施することとした。医療関係者メニウーの中から県民に公開できるものを検討をしたい。(佐々木)

肝炎治療支援ネットワーク作業部会(慢性肝疾患専門委員会)

日時 平成15年12月18日(木) 18時30分

場所 広島医師会館5階 第3役員室

出席者 委員長：吉澤浩司

相光、大林、笠松、川上、吉川、田

中、中西、舛田、水井、吉田、新田

(事務局) 山田

肝炎治療支援ネットワーク 医療圏ごとの二次医療機関一覧について

各圏域地対協から推薦を得た二次医療機関の

肝臓専門医のうち、広島市立広島市民病院、マツダ病院、吉田総合病院、呉市医師会病院、中国中央病院、庄原赤十字病院、公立三次中央病院の7病院で異動があった。

このため配布済みの一次・二次医療機関用パンフレット2版を作成する。また、キャリア数の把握やフォロアアップ体制強化とするため、健康管理手帳に綴り込みの八ガキを返信する呼びかけも追加でパンフに記載することとした。

健康管理手帳について(全国の状況ならびに県内での手帳配布状況)

広島県は県内79全市町村を対象に健康管理手帳(肝炎ウイルス)活用状況のアンケート調査を実施した。

調査結果によると、市町村へ配布された手帳は、B型3,340冊、C型5,950冊、うち患者へ交付されたもの、B型458冊、C型813冊であった。健康管理手帳に綴り込みの八ガキは、病院から市町村へ返送されることとなっているが、B型96通、C型223通と返送数が少ない現状である。

今後は、この健康管理手帳が作成された経緯等の事業説明の案内文を作成、各市町村の担当者が健康管理手帳配布時に使用することとした。

その他

広島県版の健康管理手帳が原型となり、全国版が完成間近である。希望者には販売窓口…ウ

イルス肝炎財団、肝友会で、一冊500円(郵送料別途)で販売される。(山田)

児童虐待対策特別委員会

日時 平成16年1月7日(水) 18時30分
場所 広島医師会館5階 第3役員室
出席者 委員長: 田中義人
岡崎、岡本、佐藤、島岡、中田、新田、日野、部谷、森、吉岡

(事務局) 佐々木、河口

先般、医師会員を対象に虐待に関するアンケート調査を実施した。全会員6291人にアンケート用紙を郵送、1月7日現在で23348通の回答があり回答率37%であった。うち虐待児を診た経験ありが29名(12.7%)、経験なしが2049名(87.3%)と、9割近い医師は虐待児を診たことがないと答えた。

さらに「児童虐待防止法を知っているか」との設問に、経験ある医師でも「知らない」10.4%、「あまり知らない」63.2%、経験ない医師では「知らない」24.9%、「あまり知らない」67%という現実も顕著になった。この法律によって医師に早期発見、通告義務が課せられていることの啓発も必要と思われる。

今回の委員会は、調査結果を元に内容及びその活用方法について協議した。

部谷委員より、報告書の素案が提示され、今

後はこの案をたたき台として、必要なクロス集計などを加え更に分析を進めることとした。原案は膨大な資料になるが、関係者の手持ちとして製本し保管する。

外部向けには、一部を集約し、平成15年度本委員会の調査研究報告書として提出する。更に
①広島県医師会速報の付録として全会員に配布。
②広島県地域保健対策協議会のホームページに掲載する予定である。(河口)

広島県地域保健対策協議会事務局

広島県医師会地域医療課内

☎ 082・232・7211

(内線 525、528)

FAX 082・293・3363 / 3364

E-mail citaikyo@hiroshimamed.or.jp

URL <http://www.citaikyo.jp>

広島県医師会

税務相談室の開設について

開設について

本会の福祉活動の一環として、「税務相談室」を開設しております。ご遠慮なくご利用願いたくご案内申し上げます。

記

とき 午後2時～午後5時

平成16年2月5日(木)

2月12日(木)

2月19日(木)

(一人一時間程度)

ところ 広島医師会館内 5階

中国税理士会

広島東支部派遣税理士

小川 吉宏
清水 弘司

内容 一人医療法人・医業税務等について
各日、三名程度(予約制)に限らせていただきます。

予約申込先

〒733・8540

広島市西区観音本町1丁目1・1

広島県医師会経理課

☎ 082・232・7211